



わくわく だより



アッという間に秋の陽気にひたしてしまいました。夏の暑さから開放され、すがすがしい青空の下で、さあ、これから芋煮会やバーベキューのシーズンですね。どこでやろうかとか、何を甲斐しようかとか、計画を立てるのが、また楽しいんですよ。秋は、おいしい食べ物もたくさんあって、何かといろいろ楽しめは季節です。



ひとこと

六曜について

カレンダーの日付の横に、先勝・友引・・・と書いてあるのが六曜(ろくよう)です。旧暦の中で現在も残っている六曜は、六日毎に同じ六曜がめぐってきます。吉凶を定める基準となる六つの日。すなわち、先勝(せんかち)・友引(ともびき)・先負(せんまけ)・仏滅(ぶつめつ)・大安(たいあん)・赤口(しゃく)のことです。(カッコ内は、現在多く用いられる読み)

六曜の運勢は、冠婚葬祭・契約締結・上棟式・引越し等、日取りを決めるにあたって気になる存在です。一般的な解釈は下記の通りです。

- 先勝・・・急ぐことは吉。午前は吉、午後は凶。
- 友引・・・友を引く。祝い事はよいが葬式などの凶事は忌む。朝夕は吉、午後は凶。
- 先負・・・何事も控えめに平静を保つ日。午前は凶、午後は吉。
- 仏滅・・・万事凶。葬式や法事は構わない。
- 大安・・・万事大吉。特に婚礼に良い。
- 赤口・・・凶日。特に祝事は大凶。火の元、刃物に要注意。正午は吉。朝夕は凶。

六曜の順番は、先勝→友引→先負→仏滅→大安→赤口の順に繰り返しますが、毎月1日の六曜は固定されています。

□リフォームして好みの住居に

最近、築2年のマンションを買ったのはHさん。「ラッキーでしたね。いつかは住んでみたいと思っていたマンションだったんです。たまたま売りに出されるなんて。新築時より、800万円下がっていたんですよ」と声は弾んでいます。続けて「室内も問題ないし、新築にこだわる必要なんてないんじゃないですか」と言います。

専門家である建築士も、中古マンションの良さを認めます。彼らが薦める理由の一つに、「築後2、3年たった物件なら、初期のクレームが大体出つくしている」ことがあげられます。例えば、新築入居当初によく聞かれるのが「壁にカビが生えてきた」という苦情です。これは、新築当初はコンクリートがまだ水分を放出しているために起こりやすくなるのです。それも築後2年から3年ほどすれば、乾燥が進んで落ち着いてくるとのこと。

さらに、リフォームすれば室内の間取り

やキッチンの設備などを好みどおりに変えられることも大きなポイントです。立地が気に入ったけれど、間取りがいまひとつ使いにくいといった場合でも、あきらめることはありません。物件価格の安さを利用して、思い切ってリフォームすれば、むしろ新築マンションより自分の生活スタイルに合った住居を手に入れることができます。

また、リフォームの費用としてローンを組んだ場合、工事の面積や金額などの条件を満たせば購入時のローンに加えて住宅ローン減税の対象になり、税金が戻ってきます。

中古マンションを取得した人に購入理由をたずねた調査によると、1位は「予算が手ごろだった」86.3%、続いて「リフォームすれば快適に住めると思ったから」46.7%という結果が出ています。中古のメリットは多いのです。新築マンションだけに限定せずに、視野を広げてみるのもよいのではないのでしょうか。

